

1. 活動状況

団体名	社団法人北海道建築士会 空知支部岩見沢分会青年部
対象事業	子どもの住教育やまちづくり教育
事業名	第8回「どうやってつくるんだろう」たてもの作り教室
事業目的	会員相互の技術の向上と親睦を図り、社会とのつながりを深め会の発展と岩見沢のまちづくりに寄与することを目的とする。
実施期間	平成19年9月29日（土）
実施活動内容	<p>社会や地域に貢献していくという観点で平成12年から小学生が建築を通して、物を作る喜びを体験して頂く為に児童と共に小屋の作成を行い、これを体験学習として位置づけて構築させて頂いております。完成後は学校で活用させて頂いております。</p> <p>児童達が木に触れながら少しでも「建築」を身近に感じてもらい、「ものづくり」の大切さ、難しさ、楽しさを体験してもらいました。</p> <p>また、将来「建築」をなりたい職業の1つとして選択していただければ良いと考えています。</p>
今後の課題 将来計画等	来年度以降も残りの小学校へ「たてものづくり」教室を実施していきたいと思っております。

物置の屋根で、くきを打ち込む子供たち



## 物置造り「面白い」岩見沢で 児童挑戦

【岩見沢】道建築士会  
空知支部岩見沢分会青年  
部（芳賀智一郎長）は二  
十二日、市内の志文小で

「第八回どうやってつく  
るんだろっ？たてものつ  
くり教室」を覗き、四年  
生約四十人が物置造りの

大工仕事に取り組んだ。年一回、市内の小学校で  
子供たちに建築の楽し  
さを知ってもらおうと毎  
年一回、市内の小学校で  
開催している。今回造っ  
た物置は高さ約三メートル、床

面積約十平方メートル。作業が  
順調に進むように、基礎  
部分は同青年部の会員が  
事前に造っておいた。

子供たちはヘルメット  
や軍手を身に付け、会員  
の指導を受けて、くき打  
ちや壁板の取り付けなど  
に挑戦。ふだん持ち慣れ  
ない金づちやはげを手に  
「なかなか上手にくきが  
打てない」「ペンキ塗りが  
楽しい」など声を弾  
ませていた。（山野辺孝）



申請事業の遂行状況が分かる写真をコメント付きで添付してください

※ 引伸ばして使用する場合がありますのでリサイズしていない写真データも提出願います。